

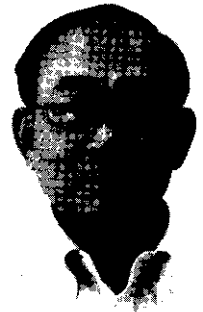
地域の新聞です。一枚ずつお取りください。

さいかち

第92号
2010.9

荏原第二
地域センター内
地域新聞編集部
電話(3782)2000

新町会長 紹介



旗の台2丁目町会
田村 徳治郎

窪田前会長の突然の死去により、会長に就任し責任の重大さを痛感いたしておりますが、幸いにも多くの有能な役員に恵まれておりますので、協力を得ながら任期を全うしたいと思っております。

当町会は、歴代の会長、役員、町会員の皆様のご尽力とご理解で活発な活動が行われてまいりました。これからも明るい、住みよい町会にするために住民同士の日頃のお付合いを大切にしていきたいと思っております。防災での生きた教訓は阪神淡路大震災で罹災し

た多くの人々が日頃のお付合いのおかげで救われたことに感謝しています。防犯面では高齢者や次代を担う青少年たちが、元気に安心して生活できる環境づくりが重要です。「遠い親戚より近くの他人」という、人と人の関係の核心を表した言葉もあります。

これからは今まで以上に近隣地域との協力関係が大切になりますし、行政の支援が絶対必要であり、品川区、消防、警察等のご指導、ご協力をいただきながら微力ではございますが尽くしてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくご支援、ご鞭撻のほどお願いいたします。

第60回社会を明るくする運動

品川区青少年善行表彰

— 地域のみなさんとのふれあい

荏原第六中学校の「ハートウォーミング六中」は、本年度も表彰されました。七年連続です。毎週火曜日には六中から西小山駅周辺の道路清掃を行い、毎週金曜日には、荏原特養ホームを慰問して室内清掃も行っています。

「ハートウォーミング六中」は、二〇〇三年に十二名で地域の高齢者への夕食配食からスタートしました。人数は年々増え、今年には生徒会役員とボランティア生徒の合計八十四名です。自分たちで企画した各種ボランティア活動を継続的に実施しています。活動が定着しており、地域の方々からも信頼されています。

これからも、生徒さん自身が活動することを楽しみながら、活躍してほしいと願っています。

多彩な催しの夏まつり

事務局次長 小野寺 辰悦

七月二四日・二五日、荏原第二地区恒例の「ふるさとまつり」が、清水台小学校で開催されました。

午後三時の開場とともに、マリゴールド、日々草の花鉢が、来場者に配布されました。同時に、模擬店の焼そば・かき氷・駄菓子・磯辺焼・フランクフルト・コロッケ・ビール・ジュースコーナーの客寄せの音が、会場を賑わしていました。

体育館では、児童センター・荏原六中のゲームコーナーがあり、ドラえもん的当て、ペットボトル活用の花器作成に、子供達が夢中になっていました。

また、健康づくり推進委員による血圧・握力・脳年齢測定により、来場者の健康アドバイスを行っていました。

一方、校庭では、摩耶寺のミニミニ

昼は、花鉢を配り…
夜は、盆踊り♪
子どもたち大活躍の2日間です☆



旗の台児童センター・清水台小の踊り、小山六丁目のフラダンス・八潮太鼓・二廷音楽隊・荏原六中や文教大付属中高生のブラスバンド演奏により、祭りは最高潮に盛り上がりました。

夕方には、中央に設置された金櫓を中心に、美女達が色とりどりの提灯の下で、品川音頭などを太鼓に合わせて踊り、夏の涼を楽しみました。

二日間、天候に恵まれ、暑い日々でしたが、子供達には忘れられない夏まつりであったことでしょう。

ふるさとまつりに行って

第二延山小 二年 石ほし ゆづき

ぼくは、おとうさんと、あわと、いっしょに、ふるさとまつりに行きました。そこには、同じやきゅうチームはたの白クラブのなかまが、先に来ていたので、いっしょにあそびました。サッカーゲームで「びっくりメガネ」をもらい、ものあそびゲームで「光るぼうし」をもらい、まとあそびゲームをやったら、けいひんは、もうなくなっていました。

それからフランクフルト、かきごおり、いそげやき、えだまめを食べました。みんなといっしょに食べると、とてもおいしいと思いました。

たくさんあそべて、いろいろなものを食べられるおまつりがぼくは大好きです。来年もぜひ行きたいと思います。



ふるさとまつりに参加して

荏原第六中 八年 江幡 健人

今回、六中八年の市民科の後業であるさとまつりのお手伝いをさせていただき、働くことの大変さや楽しさを実感することができました。

まずどんなアトラクションにすればお客さんの子ども達が喜んでくれるかを考え、そしてそのために必要なものを制作していきました。ふるさとまつり当日、たくさんのお客さんが来てくれました。アトラクションをやって悔しそうにしている子や嬉しそうにしている子を見ていて大変だけれどやってよかったと思いました。人のためになるということとはとても気持ちのよいことです。

これから今回の経験を生かしてボランティア活動など、人のためになることをやっていきたいと思えます。

ふるさとまつりのお手伝いをして

荏原第六中 九年 広瀬 結

私は、7月24日、25日とも「花鉢プレゼント」のお手伝いをしました。

2日間、非常に暑くて大変でしたが、最後まで一生懸命頑張ることができました。その理由は、地域の方々の優しさや笑顔があったからです。かき氷を差し入れてくれたときの優しさ、花鉢をもらったときの「ありがとう」という笑顔。「少レ疲れたなあ」と思ったときも、地域の方々の「ありがとう」を聞くことで、最後までモチベーションが上がり、元気が出ました。

このお手伝いを通して、私は地域の方々の優しさをあらためて知ることが出来ました。

これから、このような活動に積極的に参加して、地域の方々と喜びを分かち合いたいです。

ふるさとまつりに参加して

荏原第六中学校 吹奏楽部

暑い一日。楽器を運び演奏準備を整え、いよいよ私たちの出番です。

照りつける太陽の下では、吹いているそばから、音程があがってしまいました。何とかなく合っていないような気がしてとても不安でした。でも、聴いて下さっている方たちは、私たちに励ますように大きな拍手をしてくれました。最後の曲は第二延山小との合同合奏です。人数がいつもより大勢だということもあり、少しテンポが速くなってしまったけれど、気持ち良く演奏することができました。小学生がとても上手で、「合奏は楽しいな」と改めて思いました。

うまくいかない所もありましたが、暖かい雰囲気の中で演奏できてとても嬉しかったです。



救急車の適正利用にご協力を!

東京消防庁管内の平成20年中の救急出動件数は65万3,260件で、1日平均1,785件に出動し、実に48秒に1回の割合で出動したことになります。



〈緊急事態における 時間経過と死亡率の関係〉

例えば、心臓停止では3分間放置されると死亡率が約50%に、呼吸停止では10分間放置されると死亡率が約50%になります。このことは、緊急事態が重大であるほど早く適切な応急手当をしなければ、死亡者が増加することを意味しています。

Q 迷った時はどうするの?

救急車を呼ぼうか迷った時、診察可能な病院がわからない場合は、東京消防庁救急相談センターをご利用ください。救急相談センターでは、救急車を呼んだ方が良いのか、などの受診に関するアドバイスや応急手当に関するアドバイス、診療可能な医療機関を案内しています。

東京消防庁救急相談センター

(24時間対応・年中無休)

短縮番号 #7119 (携帯電話、

PHS、プッシュ回線から)

(ダイヤル回線からは)

23区 : 03・3212・2323

多摩地区 : 042・521・2323

また、最寄りの消防署では、24時間医療機関案内を行っています。

※問合わせ先 旗の台消防出張所

03・3783・0119

小山川柳会

林風に風鈴耐えている春色 宏子
 夏の迷い断ち切るよすがに流れ星 貞治
 一番はわが家で癒やす 旅疲れ 一朗
 言い張って 危高になる 正当論 みよ子
 ねはらたが ママの財布俱用じたまま 昇太
 顔ゆがめ リハビリねばり 効果待つ 美喜子
 かばい合う 汗とはなりし 夫婦仲 毒二郎

秋からの行事予定

— 近所ご家族 そろって参加しましょう
 皆さんの参加をお待ちしています —

秋の大運動会



日時 10月10日(日)
 会場 第二延山小学校
 雲ひとつない青空の下
 みんなで楽しい一日にしましょう

総合防災訓練

日時 10月24日(日)
 会場 第二延山小学校



震度6強の地震が発生したという想定で
 防災訓練がおこなわれます
 動きやすい服装・靴で参加しましょう